

第4回太田西複合拠点公共施設ワークショップ 「新しい太田の風景をつくる」

公開日 : 2月18日(金)

動画時間 : 約1時間25分

参加者 : 平田晃久

GA ヤマザキ (山崎誠子)

国際開発コンサルタント (氏原茂将)

※今回のワークショップは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画を限定公開し、アンケートにてご意見を頂きました。

スケジュール

<WSの振り返り>

- ・WS1 「広域的計画、施設についてしたいコト、できるコト」の振り返り
- ・WS2 「広域的計画に対する配置、巻き方」の振り返り
- ・WS3 「図書館連携と各機能配置」の振り返り

<基本設計案の報告>

- ・面積の変更
- ・基本設計案の説明
- ・WSからの変更点
- ・構造設計
- ・太田の環境に配慮したデザイン
- ・水害対策
- ・屋上

<公共施設の外溝事例／考え方について>

<WSのテーマ>

- ・テーマ1 : 新しい太田をつくる
- ・テーマ2 : 野原のような庭

<WS4の議題>

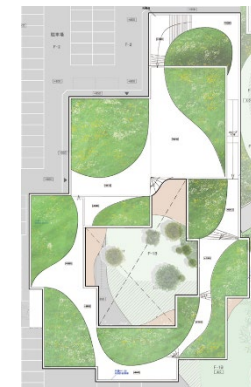
- ・議題1 : 地上部 緑のゾーニング
- ・議題2 : 屋上の使い方、イメージ
- ・議題3 : 太陽光パネルの設置検証

第4回では、「ピロティ下とランドスケープ配置」をテーマに次の基本設計案の報告と議題について説明し、アンケートにてご意見を頂きました。

議題1 : 地上部 緑のゾーニング



議題2 : 屋上の使い方 イメージ



議題3 : 太陽光パネルの設置検証

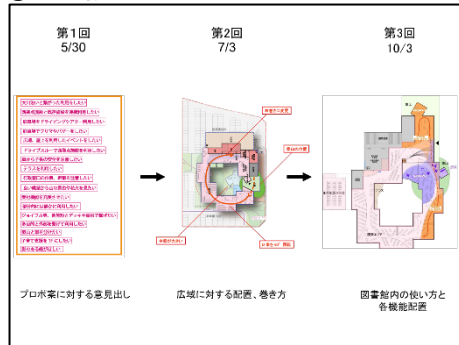
α : 屋上配置案

β : 屋上 + 駐車場配置案

γ : 駐車場配置案



①WSの振り返り



これまでのワークショップの振り返りをしました。第1回ではプロポーザルの案に対するご意見を頂き、第2回ではどのように建物配置が望ましいか、第3回では決定した建物配置の中にどのような機能をちりばめていけば良いかを話し合ってきました。

②基本設計案の報告



設計者の建築家 平田晃久より基本設計案の説明がありました。

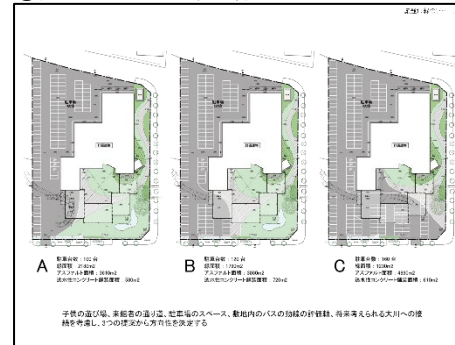
プロポーザル案よりワークショップで得られた意見を基に配置・形状を調整し、右回りで、中庭のスペースを大きく取りながら、子供の遊び場などの安全性にも配慮した配置となっています。

③外溝事例についてのレクチャー



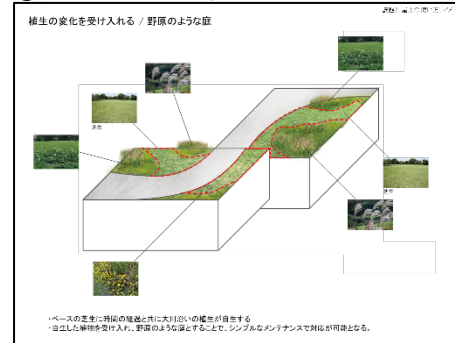
ピロティ下とランドスケープの配置を決定するにあたり、植物に関係するデザインや計画、まちづくりに携わられている有限会社GAヤマザキ 山崎誠子さんに外溝事例、緑地の作り方についてご紹介いただきました。

④議題1：地上部 緑のゾーニング



緑のスペースと駐車場となるアスファルトの部分、人々の居場所となる透水性舗装部分の大きさの取り合いによって各案を作成しました。A案は最も緑のスペースが多い案、C案が最も駐車場が多い案、B案がその間の案になります。

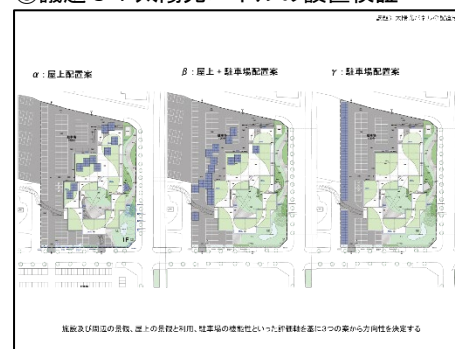
⑤議題2：屋上の使い方、イメージ



屋上の使い方によって、そのつくり方は変わってきます。

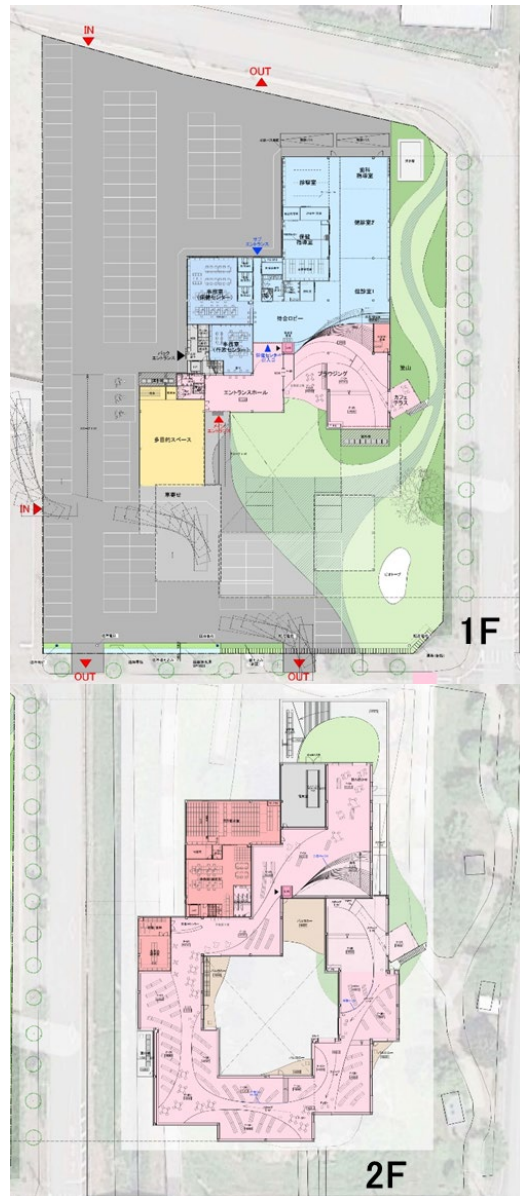
つくり方のひとつは、風や鳥が運んでくる種子が生え、植生が変化していく野原のような庭があります。そこに市民の方が植えたい植物を参加型で育てることで、完成後も変化し続ける庭になります。

⑥議題3：太陽光パネルの設置検証



α案は、太陽光パネルを屋上庭園の東屋や北西からの風よけとした案です。β案は駐車場と一部屋上に設置する案です。γ案は太陽光パネルを駐車場西側に配置します。

基本設計案について



【アンケート結果】

基本設計案に関するご意見

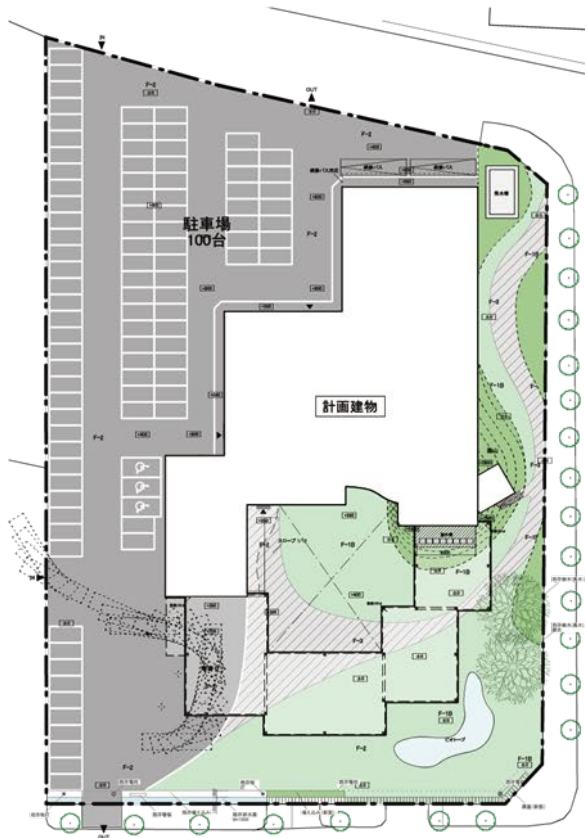
カテゴリー	ご意見
大階段	<ul style="list-style-type: none"> ・移動するだけでなく、階段で時間を過ごせるような場所になると良い。 ・階段の段差にセットしてはめられるような持ち運びできる椅子や小さな机があると良い。 ・移動できるちょっとした本棚があると良いと思う。 ・椅子や机、本棚があることで親子で本を読んだり、カフェの延長になったりして良いと思う。
建物構造	<ul style="list-style-type: none"> ・“太田断層”が一番気がかりである。 ・施設の構造では、耐震性能が重要だと思う。強靱なベタ基礎で建物を面で支える仕組みや、柱と梁を剛接合（一体化）させる構造により、強い耐震性を待ち、空間の自由度を高めるような構造技術なども、取り入れて頂けると安心する。
緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・大川沿いの緑地帯を如何に活用するか。
保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・藪塚の保健センターが統合されるのであれば、保健センターのスペースが狭いと思う。
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・大階段が素晴らしいと思う。 ・水害対策は素晴らしいと感じた。水害の被害を考慮しており勉強になった。 ・第1回ワークショップに参加した。基本設計案は理解できたと素晴らしい案だと思う。 ・全体的には良いと思う。 ・ステキ。設計的なところでは言うことがない。 ・このエリアにできれば、運動できて、お風呂入ってゆっくりできて、本が読めて、美味しいもの食べられてという場所になればと。 ・地域が広くて人が集まりづらいので、寂しさを感じている年配者も多いと思う。エリアの中心施設として期待している。 ・新しい複合施設を創るにあたり、既存施設よりも狭くなる、不便になる等の意見もあるとは思いますが、人口減少やコンパクトシティなどを意識した現代の公共施設として十分だと思っている。 ・市民ひとりひとりが、まちの未来に目を向け、凝り固まった既成概念を日々アップデートしていく必要があると感じた。そのためには、行政が積極的に市民と対話する機会をつくり、同じ未来に向かって協働していくのが理想だと思う。この施設がその象徴となる建物になることを願っている。 ・毎週土曜日に子どもと美術館・図書館に行くのが習慣になっているが、こちらの方が自宅から近いので、乗り換えることになりそう。笑 とてもワクワクしている！完成が待ち遠しい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の行政センター、図書館、保健センター、残すのか統合するのかははっきりしてから基本設計を当然するべきだと思う。なぜかはっきりしないまま進んでいる。

議題1：地上部 緑のゾーニング

[地下部の3つの案]

A案は駐車場の台数が少ないですが、子どもの遊び場、来館者の通り道が十分に確保できます。B案も、A案に比べて駐車場の台数が多くなりますが、子どもの遊び場、来館者の通り道は確保できます。C案は駐車場の台数が最も多く取るかわりに、子どもの遊び場、来館者の通り道は、A案・B案に比べて十分に確保できません。

議題1比較表	A案	B案	C案
子供の遊び場	◎	○	△
来館者の通り道	◎	○	△
駐車場の台数	△	○	◎
バスの通り道	○	○	△



A

駐車台数：100台
 緑面積：2180m²
 アスファルト面積：3610m²
 透水性コンクリート舗装面積：580m²



B

駐車台数：120台
 緑面積：1790m²
 アスファルト面積：3860m²
 透水性コンクリート舗装面積：720m²



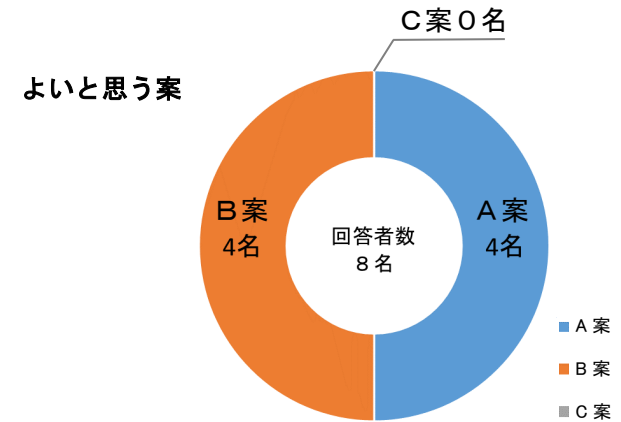
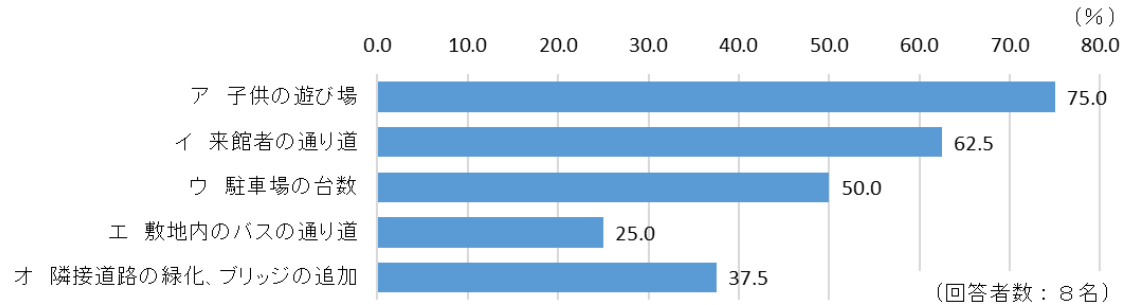
C

駐車台数：160台
 緑面積：1230m²
 アスファルト面積：4890m²
 透水性コンクリート舗装面積：610m²

議題 1：地上部 緑のゾーニング

[アンケート結果]

重視するポイント



カテゴリー		ご意見
ア	子供の遊び場	<ul style="list-style-type: none"> 子供の遊び場としての充実と安全性が高い。 「子どもの遊び場」とする場合、遊具等が配置されていないと定着しにくい気もする。ベンチ等を配置し、「憩いの場」としての提供がベターか。特に大川沿(建物東側)エリア
イ	来館者の通り道	<ul style="list-style-type: none"> 車と人の動線がしっかりとわかれていることが安全面では大切なのではないかとと思う。来館者の通り道が◎なもの、とても良いと思う。
ウ	駐車場の台数	<ul style="list-style-type: none"> 平日通常時 100 台あれば問題ないことが検証された。 子どもの遊び場・緑地のスペースも大事だが、駐車場の台数は確保したい。 駐車場内での事故(車対車、車対子ども)がないよう、安全性に配慮した駐車配置。
エ	敷地内のバスの通り道	—
オ	隣接道路の緑化、ブリッジの追加	<ul style="list-style-type: none"> ブリッジがあることで東側のボタニックガーデンへの繋がりが良くなるとともに、建物内から大川の方へと目が向き、建物の外へと足も向くのでは。 使用頻度の少ない市道であれば、いっそ完全に廃止して緑化し、施設内からシームレスに川に至るようにしてほしいところ。 西側ロータリーの一部を北側まで伸ばして代替道路にできないものか。
その他	緑地・癒しの空間	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場は最小限の台数に設定とのことだが、(A 案の場合)緑のスペースや、池などの自然が人々の目に入りやすく、癒しの空間になるのではないかとと思う。 見ることで目が癒やされる場(図書館なので)であると良いと思う。
	安全性	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の安全性と開放感
	自転車でのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> エリアの性質上どうしても自家用車での来場が主となると考えられるので、それを念頭においたデザインであるべきだと思う。

【まとめ】

- 地上部に関しては「子供の遊び場」と「来館者の通り道」を重視する方が多いです。
- 「隣接道路の緑化、ブリッジの追加」については、大川との隣接性を活かすことを求める意見を頂いています。
- よいと思う案は、駐車場台数の最も少ない A 案と中間案の B 案に同数の票を頂きました。C案は票が入りませんでした。
- A案をよいと思う人は全員が「子どもの遊び場」を重視しています。一方、B案をよいと思う人のうち3名が「駐車場の台数」を重視しており、「子どもの遊び場」「来館者の通り道」(いずれも2名)よりも多くなっています。

議題2：屋上の使い方、イメージ



【アンケート結果】

ご意見

カテゴリー	ご意見
飲食・休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物や飲みものをもって上がれると良い。 ・展望が良い場所なので、それを生かした場所に座ったり眺めたりできると良い。 ・あずまやのようなものがあると良い。 ・散歩の途中の一息でお茶を飲んだり、ゆっくり本を読んだりしたい。 ・夏だけでなく他の季節にも日陰になる場所やベンチが欲しい。 ・気分転換に、外で勉強や読書できるスペースがあっても面白いかも。 ・一休み(ベンチに座ってゆったり)、芝生で横になり空や山を眺めるなどできると良いと思う。
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・面積が広い様なのでいろいろな企画ができると思う。 ・野点(お茶やコーヒー)お茶を習うイベントがあると嬉しい。 ・WS やイベント等を誰でも気軽に開催でき、「いつでも何かやっている」施設にしてほしい。 ・イベント(フリーマーケット、お祭りなど)
天体・自然観測	<ul style="list-style-type: none"> ・夏には、星空を見る天体的な天体的な企画も良いと思う。 ・屋上に望遠鏡を設置して、太田の”金山”や”両毛三山”なども見てみたい。天体観察などもできると最高！ ・一人一人双眼鏡をもって、山や地理に詳しい人からレクチャーを受けたい。 ・天文学のレクチャーも受けたい。月食や流星群などの天文イベントのたびに何かやってほしい。
緑地・庭	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上を含め、緑地の「意図的なほったらかし」は大賛成！ ・「野原のような庭」と共に、ガーデニング要素を取り入れてほしい。季節の植物を栽培し、それらをイベントなどで販売してみたい。 ・子供たちがいろいろな生き物をとれる庭
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクニック、マーケット系イベント、絵本をテーマにした庭(定期イベント的に)、野外映画祭、キャンプ、チェアリング

議題3：太陽光パネルの設置検討

[屋上と駐車場設置の3つの案]

α 案は、太陽光パネルを屋上庭園の東屋や北西からの風よけとした案です。屋上の利用の自由度が下がります。 β 案は駐車場と一部屋上に設置する案です。太陽光パネルを駐車場の屋根として設置し、さらに連続させて施設エントランスに接続することで、雨よけとしても活用することができます。 γ 案は太陽光パネルを駐車場西側に配置します。雨に濡れない駐車スペースが最大に確保できますが、周辺の景観を考慮した検討が必要です。

議題3比較表	α 案	β 案	γ 案
施設、周辺の景観	○	○	△
屋上の景観、利用	△	◎	○
駐車場の機能性	△	○	◎

α ：屋上配置案



β ：屋上+駐車場配置案



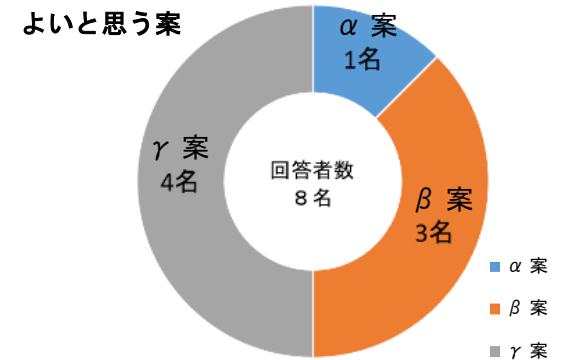
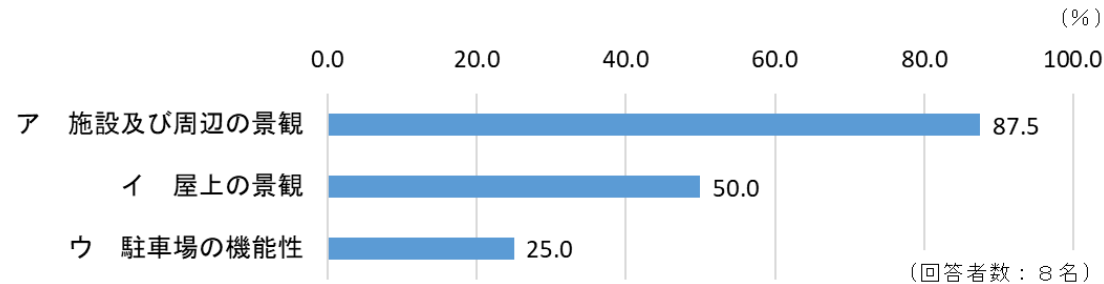
γ ：駐車場配置案



議題3 太陽光パネルの設置検討

[アンケート結果]

重視するポイント



カテゴリー		ご意見
太陽光パネルの設置について		<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の屋上に太陽光パネルというのは理解できるが、屋上を積極利用する施設にまで、杓子定規に適用するのはナンセンス。この分を他の施設の屋上に設置で合算ができると良いと思う。 屋上の景観を考えた場合、屋上には太陽光パネルは設置しないほうが良いと思う。
ア 施設と周辺の景観	施設の景観	<ul style="list-style-type: none"> α案では東屋の屋根とすれば見えないが、β・γ案だとみえてしまう。 無機質かつ武骨な太陽光パネルが、建物と自然に一体的と感じられるデザイン配置が望ましい。 太陽光パネルの廻りを植栽で囲むなどしてなるべくパネルが目立たないような工夫が欲しい。
	周辺の景観	<ul style="list-style-type: none"> パネルを設置したことは強調せず(デザイン的に)周辺との調和を重視して欲しい。 上毛三山や金山を眺められるだろう屋上に太陽光パネルが並んだり、屋上から下を見ると駐車場にやはりパネルが並んでいるのもよくないと思う。 太陽光は良いのであるが、景観を考慮する必要がある。 周辺からの景観は十分考慮する必要がある。 景観と建物の美しさに邪魔にならない配置とエネルギー効率も良い配置ならなお良いと思う。 景観という意味では周辺環境との調和ももちろん重要だと思う。
イ 上の景観		<ul style="list-style-type: none"> 屋上の景観ではなくて、屋上からの景観を重視したい。見えなくしてほしい。
ウ 駐車場の機能性		—
その他		<ul style="list-style-type: none"> 大容量のソーラーはエネルギーを創り出したり、“蓄電池”で非常時に使うことができたり、停電中でもソーラーで充電が可能であることが分かった。 自然エネルギーや過剰電力などを施設内で、シェアをして有効的に使うことが良いと思う。 “AI”が天気予報を見て、電力の調整するシステムがあり、ポイントになるのではないかと感じた。

【まとめ】

- 太陽光パネルの設置検討については「施設及び周辺の環境」を重視する方が最も多いです。
- 太陽光パネルの設置自体について疑問を持つ意見も頂きました。
- よいと思う案は、駐車場西端に設置するγ案で4名でした。β案は3名の方が選んでいます。
- γ案をよいと思う人のうち、3名が「施設及び周辺の景観」を重視し、2名が「屋上の景観」、「駐車場の機能性」を重視しており、3つのポイントがいずれも満たされると推察されます。
- β案は全員が「施設及び周辺の景観」を選んでいますが、その他のポイントは選ばれていません。